

# 公式記録



(一社)兵庫県サッカー協会  
兵庫県高体連サッカー部

## 平成26年度兵庫県高等学校総合体育大会サッカー競技 女子の部 決勝 【14】

日時		2014年6月7日(土) 14:30				キックオフ		会場		神戸レディースフットボールセンター										
天候		晴れ	風	微風	ピッチ	天然芝・人工芝	状態	(良好)	不良	泥沼	試合形式		70分/延長20分	PK戦	有					
運営責任者		辺見 康裕		会場主任		鈴木 義章		記録		古川 奨 / 大山 善旦		観衆		100人						
主審		竹内 菜由香		副審1		的崎 睦子		副審2		市川 真由子		第4の審判員		梶原 彰一						
チーム名		kick off						8 前半 0		0		チーム名								
		日ノ本学園高校						5 後半 0		0		県立有馬高校								
		選手番号						延前				選手番号								
		PK戦						延後				PK戦								
		O×先						PK戦				先O×								
交代		シュート				選手名 (学年)		番号		位置		選手名 (学年)		シュート				交代		
No.	OUT時間	延後	延前	後半	前半								前半	後半	延前	延後	OUT時間	No.		
	分					木村 優衣	3年	1	GK	GK	12	松岡 麻代	3年					分		
	分			1		竹村 美咲	3年	②	DF	DF	3	田中 亜美	3年					分		
63	分			2	1	渡部 那月	3年	4	DF	DF	13	和田 実莉	3年					分		
63	分				1	多田 彩華	3年	19	DF	DF	⑭	濱中 ひより	3年					分		
HT	分				3	稲田 佳奈	3年	7	DF	MF	2	浮田 千咲	2年					分		
	分			1	1	吉田 凧沙	3年	6	MF	MF	9	御川 果歩	2年					分		
	分			2	5	八坂 芽依	3年	10	MF	MF	10	黒川 緋寧	3年					分		
50	分			3	2	原 優香	2年	24	MF	MF	22	奥仲 美鶴	3年					分		
43	分				1	寺崎 未祐	3年	8	MF	FW	4	中村 理沙	2年					分		
HT	分				5	池尻 菜由	3年	9	MF	FW	8	杉山 芹香	3年					分		
	分			6	5	大竹 麻友	3年	11	FW	FW	11	安田 芹菜	3年					分		
7	分			2		小松 優希	2年	3	DF	GK	1	杉本 らな	2年					分		
8	分			2		山崎 唯花	3年	14	MF	DF	5	上中 梨奈	2年					分		
	分					渥美 優子	3年	15	DF	MF	6	藤田 真結実	1年					分		
19	分					本庄 結	3年	17	DF	MF	7	森崎 友梨香	2年					分		
4	分					櫻田 菜帆子	3年	18	DF	DF	15	大江 芽生	1年					分		
	分					池尻 凧沙	3年	20	GK	FW	16	塚本 悠里	2年					分		
24	分			4		小林 紗也	3年	21	MF	MF	17	酒井 玲奈	2年					分		
	分					大谷 美瑛	3年	22	DF	MF	19	藤田 咲穂	2年					分		
9	分			6		鈴木 綾華	3年	23	MF	DF	20	後藤 円香	2年					分		
時間	警・退	No.	氏名	事由	合計	延後	延前	後半	前半	チーム合計	前半	後半	延前	延後	合計	時間	警・退	No.	氏名	事由
分					53			29	24	シュート	0	0			0	分				
分					1			0	1	GK	5	3			8	分				
分					5			1	4	CK	0	0			0	分				
分					1			0	1	直接FK	0	1			1	分				
分					0			0	0	間接FK	0	2			2	分				
分					0			0	0	PK	0	0			0	分				
[警告事由] 反ス・ラフ・異議・繰返・遅延・距離・無入・無去 [退場事由] 不正・乱暴・つば・阻(手)・阻(他)・侮辱・警2																				
得点経過	略号例: ドリブル~・ゴロのパス~・浮き球○・混戦×・ヘディングH・シュートS										略号例: ドリブル~・ゴロのパス~・浮き球○・混戦×・ヘディングH・シュートS									
	時間	チーム	No.	得点者	得点経過					時間	チーム	No.	得点者	得点経過						
	4分	日ノ本	10	八坂	中央⑩~S					53分	日ノ本	21	小林	左⑳~→中央㉑S						
	7分	日ノ本	11	大竹	中央⑪~S					55分	日ノ本	23	鈴木	左③~→中央㉓S						
	10分	日ノ本	11	大竹	中央⑨→右⑪S					63分	日ノ本	23	鈴木	左③~→中央㉓S						
	13分	日ノ本	9	池尻	左⑪→左⑩→中央⑨S															
	15分	日ノ本	10	八坂	右⑪→中央⑩S															
	22分	日ノ本	10	八坂	中央㉒S×中央⑩S															
	31分	日ノ本	19	多田	右CK○⑩HS															
33分	日ノ本	11	大竹	右㉒~→中央⑪S																
42分	日ノ本	11	大竹	右④~→中央×⑪S																
47分	日ノ本	10	八坂	中央×⑩~S																
戦評	戦評者 所属【 三田祥雲館 】 氏名【 平家 義久 】																			
	日ノ本4-1-4-1、有馬4-3-3のシステムでスタート。序盤から積極的にプレスをかけ多彩な攻撃で有馬ゴールに迫る日ノ本。CB②竹村の正確なフィード、ボランチの位置から⑥吉田の効果的なサイドチェンジ、⑩八坂のドリブル突破からのシュートなど再三決定機を作り、サイドを問わず攻撃を組み立て、得点を重ねた。一方の有馬は防戦ながらもバイタルエリアでチーム一丸となって粘り強く守り、GK松岡も好セーブを連発した。後半に入ってから日ノ本は⑩八坂、⑪大竹を中心に有馬DFラインを崩し、鈴木の大竹からのスピード溢れるドリブル突破を生かして得点を重ね、攻撃の手を緩めなかった。日ノ本の分厚い攻撃に圧倒されながらも、有馬はGKが決定機をよく防ぎ、③田中が中盤でのインターセプトから前線へパスをつなぐなど最後まであきらめず健闘した。優勝した日ノ本は兵庫県代表として全国総体に向けて良いコンディションを維持し、どこからでも点の取れるサッカーで連覇を果たすことを期待したい。																			

[備考]